



物部川水系物部川の渇水対応について ～節水開始に伴い、永瀬ダムの放流量を制限します～

- 物部川流域では少雨傾向が続いており、^{すいた}杉田地点の流量を確保するために永瀬ダムからの補給が続いていることから、永瀬ダムの貯水率が低下しております。
(6月2日14時時点の永瀬ダム貯水率：33.0%)
今後も降雨が少ない場合は更に低下していく見込みです。
- このような状況から、6月2日の令和4年度第1回物部川渇水調整協議会の決定に基づき、6月3日(金)8時から別紙のとおり節水を開始し、これに基づき永瀬ダムの放流量を制限することとしました。
- 永瀬ダムの貯水率が0%となるのは、今後無降雨が続き、かつ永瀬ダムが通常の運用を行った場合、6月15日頃の見込みであるのに対し、永瀬ダムの放流量を制限することにより7日間程度延長する見込みです。

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】

物部川渇水調整協議会 事務局

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所

電話 088-833-0111(代表) (○：主な問合せ先)

副所長

○河川管理課長

おおたに まさひこ
大谷 正彦
ひがし やすし
東 泰志

令和4年6月3日

【令和4年度 第1回物部川渇水調整協議会】

＜決定事項＞

今回の渇水に対して、令和4年6月2日「第1回物部川渇水調整協議会」により、関係利水者等と協議を行い、6月3日(金)8時から合同堰の水利流量を20%節水(1.72m³/s 節水)及び統合堰の水利流量を20%節水(1.38m³/s 節水)し、河川維持流量1.00m³/sを加えた13.4m³/sで杉田地点流量を確保するよう永瀬ダムの運用を行うことを決定いたしました。

■水利流量【3/21～7/31】

	水利流量 (m ³ /s)	節水(6月3日8時～)		
		節水量 (m ³ /s)	節水後水量 (m ³ /s)	節水率
合同堰	8.61	1.72	6.89	20%
統合堰	6.89	1.38	5.51	20%
計	15.50	3.10	12.40	20%

■河川維持流量【4/21～7/31】 1.00m³/s

■杉田地点確保流量

$$\begin{aligned} \text{杉田地点確保流量} &= \text{水利流量} + \text{河川維持流量} \\ &= 12.4\text{m}^3/\text{s} + 1.00\text{m}^3/\text{s} \\ &= \underline{13.4\text{m}^3/\text{s}} \end{aligned}$$

物部川流域図

